

因幡のくにの夢づくり

# とのまる通信

第3号  
2001・10・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県岩美郡国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612

## おやじに好評！ わさびアイス



「甘さと辛さが一緒になった味」  
 「あまり甘くなくて、食べやすい」  
 「意外といける！」  
 「今まで食べた事ない不思議な味！」  
 など、十人十色の食感をもつ「わさびアイス」。  
 国府町「大茅の里<sup>おおかや</sup>」で商品開発され、  
 昨年6月より国府町の特産品として販売。  
 粉末ワサビは使用せず、  
 地元産の本生ワサビを使用！  
 本物を使用しているゆえ、  
 「今日のは、ワサビがよくきいとるわいな！」  
 と、作るごとに味が変化するのは「愛嬌」。  
 清らかな水が必要とされるワサビ栽培から、  
 “わさびアイス”誕生までを追ってみました。



## 初のワサビ栽培

「楠城地区は、殿ダム建設の関係で、31世帯中、7世帯が水没地区となり、移転となったんです。そこで、地域の活性化と過疎化対策が目的で、共同作業をしよう！言う事になって、平成5年の冬から地区のみんなと、ワサビ栽培に取り組み始めたんです。当初15～16名の参加がありましたけどな、初めて作る事ですし、気温や水温に敏感で難しい植物でしてな、なかなかよ～育てんで、そのうち1人減り、2人減りして、平成7～8年には5人くらいになりましたわいな。」と語るワサビ生産部長の谷岡宣幸さん。

このままではワサビ栽培の火が消えてしまうと、農協や大茅地区に話をもちかけたところ、一緒にやろう！と

いうことになり、平成9年、JA鳥取いなば国府町支店ワサビ生産部が誕生した。

## 捨てる所がないワサビ

「ワサビ栽培は、花から根まで丸ごと1本全部お金になるんです！」と谷岡さん。何がどう売れていくのかを伺った。

3月 上旬

4月 下旬

### 花芽を出荷

菜の花と同じく、春をいち早く感じる食材として利用される花芽と花茎。京阪神方面に出荷される。

「どうせ花芽は摘み取らんといけん物ですけえ、捨てる所がお金になるですよ！」

5月 上旬

### 葉柄と葉を出荷

ワサビは年中瑞々しい緑色の葉をつけているが、やはり、この時期の葉は漬け物用に最適！岡山県の漬け物業者に出荷する。

「刈り取っても、またじきに新しい葉が出てきます！」

6月 上旬

### 根茎(ワサビ本体)を出荷

ワサビ本体は年中収穫できるが、6月が出荷のピーク。

「ワサビのひげ根にも辛み成分があるですけえ、根も売れるですよ！」

このように捨てる所がなく、他の野菜より高値で取り引きされるワサビは魅力的！しかし水がきれいでないと育たず、適地がごく限られ、栽培がかなり難しいらしい。

# “大茅の里”が 生産の拠点に！

徐々に安定した出荷ができるようになった頃、大茅地区に町の施設として、農産物加工施設(大茅の里)が完成し、大茅ワサビ生産グループも運営に参加する事となった。

大茅の里では、ワサビの他、みそ、こんにゃく、山菜を加工する4つの生産部ができ、それぞれ商品作りに励んだが、他町村との違いが出せない。そこで、ワサビを使った特産品はできないものかと思案し始めた。そんな折、役場産業課がワサビアイスを提案。早速作ってみる事に！



アイス作り担当の谷岡幸子さん(左)と岡本とし子さん。

## アイス作り 初挑戦！

ところで、発想はいいが、アイス作りの経験者は？というところ…ワサビ生産部、男女合わせて20人、誰一人としてアイス作りの経験者はいなかった。さぞかし困った事だろうと思いきや…

「アイスは機械が作ってくれますが、分量の調整に難儀しました」と谷岡さん。

ワサビ生産部が作るアイスは、地元産の本生ワサビと、辛み成分の多い根の部分を使用。見た目にも美しい緑色は生葉を使用し、完全無添加、無着色！粉ワサビなら分量を割り出しやすいが、生ワサビは収穫する季節、場所により味、香りが異なるため、作るごとに味、香りが変化し、なかなか最良の分量がつかめない。何ヶ月もの間、試行錯誤の日が続いた。



湧水で育てた沢ワサビ畑を案内してくださった谷岡宣幸さん。



ワサビの花

## アイスを愛す？

やっと完成した“わさびアイス”は平成12年、国府町楠城地区で行われたマストリフェスタのイベントにて初披露！子供よりも大人に好評で、200個用意していたわさびアイスは完売！大きな手ごたえを感じた。

その後、万葉の館のレストランにて、食後のデザートに出されたり、同館内の売店にて販売されている。

また、大茅の里では、わさびアイスの他、“いちご愛す”や“抹茶愛す”なども製造、販売している。

当初各種共、商品名にカタカナの“アイス”を使用していたが、“愛す”と漢字に変更。(わさびアイスは在庫ラベル修了後、“わさび愛す”に変更予定)より強い印象となり、消費者に受けている。



“わさびアイス”は万葉の館の売店にて発売中！  
120ml入り・1カップ・200円(税別)  
お問い合わせ先:万葉の館 TEL)0857-27-0358

## ワサビは水が命

ワサビの栽培方法は大きく分けて沢ワサビと畑ワサビの2つあり、沢ワサビの方が高級とされている。

沢ワサビは環境に敏感な作物で、適度に養分を含んだきれいな水が豊富にあり、夏でも涼しく過ごせる環境が必要。標高約300~500m地点で、湧水の出る渓谷が適地とされている。

楠城と大茅地区のワサビ畑は、標高約300m付近に点在し、ワサビ畑より上に人家はなく、水が清らかな山の中にある。現在12軒の生産者がそれぞれ適地で、沢ワサビや畑ワサビを作っておられる。

そもそも国府町は面積の約78%が森林に覆われ、天然ワサビが自生するほど、水がきれいで自然豊かな町。

袋川上流の水が清らかである事は、下流の人にとってはうれしい事！できる事なら、1人1人が川を汚さず、この清らかさが海まで続くといいですね。





# 植物の力で水をきれいに！

## 植生浄化実験について

私たちが暮らしている千代川流域は、千代川の良い水質のおかげで、毎日おいしい水を飲むことができます。そのおいしい水を未来にも残していけるよう、千代川流域圏会議ではさまざまな取り組みを行っています。殿ダムにおいてもその一助となるよう、ダム貯水池内の遊休地を利用し、植物を使った水の浄化実験を鳥取大学と共同で行っています。

トイレや生活雑排水を合併浄化槽などで処理した後の水は、千代川の水質に比べるとまだまだ栄養分に富んだ水であるため、より河川水質に近い状態にして川に流してやろうというものです。

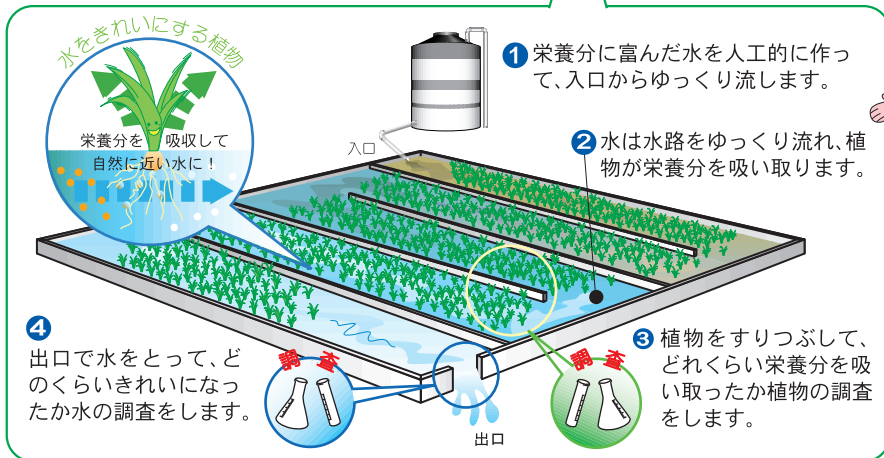
今年4月から本格的に開始したこの実験はどんなものか？詳しい内容を鳥取大学工学部の矢島啓先生に伺いました。



殿ダム貯水池内の広さ900m<sup>2</sup>の池に、植物の種をまく鳥大生たち。



○の部分の水を想定して、下記のような実験をしています！



川に栄養分を多く含む水が流れるとなぜいけないの？

人間が栄養を取り過ぎると、太って様々な病気になると同じように、川に栄養分(窒素・リンなど)が増えると、川自体のバランスが崩れ、富栄養という病気になるんだ！湖ではアオコ、海では赤潮などが発生して、水の汚れにつながるんだよ！

こういう実験をしています！

### 栽培した植物

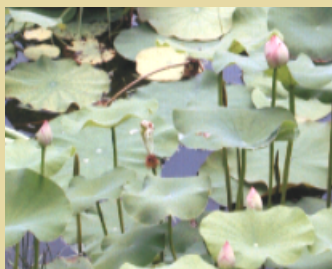
クレソンやペパーミント・エンサイ・コスモスなど、いろんな植物の浄化能力や成長具合を調べています。

また、植物の利用方法(料理に使用できたり、観賞用としての利用など)についても検討を進め、付加価値の高い植物を中心に実験を行っています。



これからはダム上下流域の一般住民の方々や、小学生などにも植えつけや採取に参加してもらえるよう植物の利用方法も考えながら、この地域に合ったものを見つけていきたいと考えています。

この実験を通じて地域住民やダムの上流と下流の方々との交流が深まり、さらに今後もおいしい水が飲めるよう、水源地域を大切に思う気持ちを広げていきたいですね！



今年植えつけたハスに花芽がついた、智頭町芦津の植生浄化実験の池。

### 智頭町でも実験を行っています！

現在、智頭町芦津でも植生浄化実験を行っています。

智頭町では、地元の方々为主体となり、千代川流域圏会議、智頭町親水公園連絡協議会の協力を得ながら取り組みを始めています。

植えた植物は、ショウブやお盆に利用価値の高いハスなどで、順調に植物が根付けば、育った植物は住民の方に利用される計画です。

この植生浄化実験に皆さんも参加して、自分が使った水と、川との関係をみつめ直すきっかけになればいいですね！



矢島 啓先生

	工事名	工期	請負業者
1	殿ダム吉野進入路(その2)工事	H13・7月17日～H13・12月20日	良興・共和JV
2	殿ダム吉野進入路(その3)工事	H13・8月 3日～H13・12月20日	栗山組

## 工事現場儿ボ…その①

### 工事現場における濁水対策について



勢いよく水をかけて、トラックの泥や砂をふきとばす。

殿ダムでは現在、付替道路に関する工事を中心に工事を進めているところですが、工事を行うにあたっては、できるだけ土砂が川に流れだしたり、道路を汚したりしないように現場環境に配慮して工事を進めています。

### スパッツ(車の泥落としの機械)設置

泥だらけのダンプトラックがそのまま道路を走ると、道路を汚したり濁水の原因にもなるので、道路に出る前にダンプトラックのタイヤをきれいに洗浄しています。



沈砂池には竹の小枝でしきりを作り、砂や泥の他ゴミも除去して、上澄みを川に流している。

### 沈砂池を作る

工事により発生する泥水は、いったん沈砂池に溜められ、泥や砂を含まない上澄みだけを川に流し、川の汚濁をできるだけ防いでいます。

殿ダム建設に伴う 移転者ご家族の今を紹介するコーナー

## 今回の元気がいな!

### 太田 英夫さん



新居の前にて英夫さんと、とし子さん。

拾石地区で最長老の、時子ひいばあちゃん(92歳)がおられる太田英夫さんご家族。拾石にお住まいの時は、ご夫婦とおばあちゃんの3人暮らしだったが、この度、国分寺“三郷”に移転されたのをきっかけに、息子の保栄さんご家族と同居、一気に8人の大家族となった。

「引っ越しして約2年、この間ずっと無我夢中でしたなあ。移転する前から自治会長をとりましたけえ、家の事より、集落全体の生活再建の事で頭がいっぱいでしたわいな。おかげさんで先月、三郷に建った公民館の竣工式が終わり、肩の荷がおりました。」と語る英夫さん。

公民館のない時は、ゴミを出す場所や、町や地区のお知らせを流す方法、その他もろもろの諸問題を炎天下の中、道路の縁石に座り込み、みんな決めていた。公民館ができ、誰に気兼ねする事なく、集える場所ができたみんな喜んでいそうさ。

「私はただただ、家の片づけや整とんの毎日でした。拾石ではクーラーなんぞいらなかったですが、ここではクーラーなしではおれんです。」と、ごちない手つきでリモコンを操作されたとしさんが印象的だった。

太田さんが移転された国分寺“三郷”は、以前田んぼだった所を宅地化し、まっさらから作った集落。殿、拾石、楠城の3つの郷から集まった移転者が集落を形成した事からこの名がついた。

生活再建だけでも大変な事だが、集落形成も同時にしていくご苦労は計り知れない。現在13軒が三郷で暮らしている。

11月 3日(土) 4日(日)

## 『万葉のふる里こくふまつり』開催!

第32回国府町文化祭『万葉のふる里こくふまつり』に、今年も殿ダムコーナーを設ける予定です。動く紙芝居「とのまるげきじょう」をはじめ、楽しいイベント盛りだくさん!ぜひ、来てね!袋川絵画コンクールの表彰式もあるよ!

- ・日時: 11月3日(土)・4日(日) 9:00~15:00(予定)  
(※殿ダムコーナーは3日のみです!)
- ・場所: 因幡万葉歴史館周辺
- ・主催: 万葉のふる里こくふまつり実行委員会



### お便りいただきました!

市内の男性と、遠くは米子市の方からお便りをいただき、ありがとうございました!殿ダム工事事務所にはとのまる通信の他、資料や展示物がありますので、お気軽におこし下さい!



お問い合わせ&お便りの宛先

国土交通省 殿ダム工事事務所  
とのまる通信編集部 宛  
〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1221  
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612